

## 初夏の朝

作 田 哲

澄みきりし朝の空に教會の鐘の響のたもつさやけさ

一年を住むべき宿と露路奥の小さき家居に落付にけり

オール持つ手先あやしく揺動く細きスカール漕ぎなづみをり

揺れ騒ぐ舟を鎮むとあはてある手つき危ふく漕ぎやみにけり

夏の陽の光に映えて水な底をきらりとよぎる小鮒の返り

舟底の淺きボートに仰向に伏して見入りし空の明るさ

初夏の暖き陽下にふしまろぶ小舟の上に風そよぎゆく

小舟ぬち伏して仰げる山々の肌への縁夏ざりにけり